

氏名 宇 田 征 史

授与した学位 博 士

専攻分野の名称 医 学

学位授与番号 博 乙 第 2686 号

学位授与の日付 平成 6 年 3 月 25 日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者

(学位規則第 4 条第 2 項該当)

学位論文題目 日本猿における紫外線照射脾細胞経門脈投与による特異的MLR抑制因子の誘導

論文審査委員 教授 清水 信義 教授 中山 睿一 教授 辻 孝夫

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

日本猿を用いて紫外線 (UV-B) 照射脾細胞経門脈投与の免疫応答能に及ぼす影響について検討を行った。対照群としてUV-B照射脾細胞を末梢静脈より投与した。

投与細胞数は $5 \times 10^7/\text{kg}$, UV-B照射量は $1.2 \times 10^4 \text{ J/m}^2$ とした。UV-B照射脾細胞経門脈投与後 3 週より血清中に, ドナー細胞に対するMLRのみを特異的に抑制する因子の誘導が認められた。血清中にドナー細胞に対する細胞傷害活性因子は認められず, MLR抑制は細胞傷害性因子によるものではないと考えられた。末梢静脈より投与した群では, 投与後 8 週になって特異的MLR抑制因子の誘導もたらされた。

この手法は, 移植前にアロ抗原投与準備期間のない, 死体腎移植における特異的免疫抑制法の一方法として臓器移植の臨床応用の可能性が示唆された。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は, 臓器移植における特異的免疫抑制療法として, 日本猿を用いて, アロリンパ球を投与し免疫応答に及ぼす影響について検討したものである。紫外線照射脾細胞を経門脈的に投与し, 3 週よりドナー細胞に対するMLRのみを特異的に抑制する因子を認め, 特異的免疫抑制法について重要な知見を得たものと認め, 本研究は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。